

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	五館合同事業			
担当部署・課長名	中央公民館	課	事業	係 課長名 佐伯 芳幸

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	1-2	5-3
【施策名】生涯学習の充実、共に支えあう地域社会の確立	総合計画書(ページ)	35	110

予算名	款 101 教育費	項 4 社会教育費	目 2 公民館費	事業 1 中央公民館事業費
-----	-----------	-----------	----------	---------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市民	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市の人口【4月1日】
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 地域で、学習の場に参加できる。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 五館合同事業参加者
	③ そのために何をしましたか。 ①利用者連絡会等開催 ②講座開催 ③イベント開催 ④施設の貸出 ⑤こうみんかんだよりの発行	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①夏休みみんなで作る遊空間開催回数 ②市民大学(前期)開催回数 ③市民大学(後期)開催回数 ④ここがふるさと・東大和の魅力発見発信し隊開催回数 ⑤公民館のつどい開催回数 ⑥五館合同交流会開催回数 ⑦こうみんかんだよりの発行 ⑧障害者青年教室開催回数 ⑨地域デビューパーティー開催回数 ⑩五感活用うどん講座 ⑪ヒガシヤマト未来大学をいっしょにつくりませんか? ⑫ヒガシヤマト未来大学開催回数 ⑬デジタルアーカイブ講座開催回数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	86,044	85,857	85,698		
	成果指標	②の数値	人	4,369	3,220	2,614		
	目 標	②の目標値						
		目標値設定の考え方						
活動指標	③の数値	回	①	33	①	35	①	34
			②	10	②	17	②	
			③	10	③	10	③	
			④	41	④	32	④	
			⑤		⑤		⑤	
			⑥	2	⑥	2	⑥	2
			⑦	6	⑦	6	⑦	6
			⑧	16	⑧		⑧	17
			⑨	1	⑨	1	⑨	1
			⑩	8	⑩		⑩	
			⑪		⑪	5	⑪	
			⑫		⑫		⑫	28
			⑬		⑬		⑬	5

3 経費	事業費(実績)	円				
	財源					
	一般財源	円				
	特定財源	円				
	(うち受益者負担)	円				
	人件費(再任用以外)	人				
	職員人件費(再任用以外)	円				
職員人件費(再任用)	円					
事業費十人件費	円		0	0	0	

※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。
人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円
時間単価は、4,200円
で計算してください。
【算出根拠】平成29年度決算数値(円)

この仕事における市の裁量 市の裁量は大い

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 ①平成16年度 子どもの居場所作り ②③平成25年度 市の活性化 平成29年度で終了 ④平成27年度 まちおこし ⑤昭和59年度 利用者のための公民館の使い方、その後地域課題の学習イベントとして実施 平成28年度から廃止 ⑥平成14年度 市内五館利用者の情報交換・交流・共通課題解決 ⑦昭和46年度 情報提供 ⑧平成4年度 障害のある青年とない青年の交流 ⑨平成25年度 定年直後の市民の公民館デビュー推進 ⑩平成26年度 中央公民館事業として地域生産品委員の栽培とうどん文化について学習、平成28年度で終了 ⑪平成29年度 ヒガシヤマト未来大学企画運営委員の育成 ⑫平成30年度 地域活性化 ⑬平成30年度 市の史跡等のデジタルアーカイブ化に向けた学習
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 ①スタッフが当初の500人から1000人を超えるようになった。 ②③30年度にヒガシヤマト未来大学にリニューアルのため、29年度をもって事業廃止。 ④3年間の事業期間が終了したため、平成29年度をもって事業廃止。 ⑤平成28年度廃止。 ⑥平成26年度から年2回。 ⑦30年度にリニューアル ⑧平成27年度は中央事業、28年度は5館合同、29年度は中央事業として継続実施。 ⑨産業まつりと同時開催。 ⑩自主グループ化し、五館合同事業としては終了。 ⑪ヒガシヤマト未来大学へのリニューアルに向けた企画委員養成講座のため、平成29年度をもって事業終了。

仕事の内容	五館合同事業			
担当部署・課長名	中央公民館	課	事業	係 課長名 佐伯 芳幸

5 市民 等の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	②③は若者の参加に重点を置き、市内外の若者の活動を活発化する目的で、「ヒガシヤマト未来大学」にリニューアルし、企画実行委員が自立して運営できることを目指す。⑦30年度にリニューアルを実施。⑫企画委員に市内外の若者が参加し、検討した企画を実施している。			
6 市民 協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。(複数回答可)			
	取組んだ	取組手法	②③⑥ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点				
協働事業は、増加傾向にある。少しづつ自主化への道をつけていき、新規事業取組への余裕をつくる必要がある。				
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容			
	①参加者が多いので、スタッフを確実に確保すること。②③公民館事業の脱却を目指し、「ヒガシヤマト未来大学」としてリニューアルする。④市民の自主活動化。⑥交流会からの前進。⑦リニューアルが決定。⑧平成29年度は中央公民館事業に戻す。⑨参加団体への加入に結びついていないことから、開催方法を検討する必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒガシヤマト未来大学にリニューアル、事業を開始した。 ・「ほっぺ@ひがしやまと」、「東大和とっとネット」、「まち連」の各自主グループが設立し、自主活動が開始した。また、用紙援助等を行った。 ・こうみんかんだよりのリニューアル実施した。 ・地域デビューパーティーを「公活パーティー」に改め、実施方法の見直しを実施した。 			
(3)(2)を踏まえた今後の課題				
<ul style="list-style-type: none"> ・ヒガシヤマト未来大学の充実と、自主活動に向けた取組の検討 ・「公活パーティー」の更なる充実 				
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒガシヤマト未来大学の運営については、公民館職員が適切な助言・支援を行う。 ・「公活パーティー」については、パネル展示と交流会を実施する方向性は変えずに内容を検討していく。 			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒガシヤマト未来大学のメンバーと公民館職員との信頼関係をつくる。公民館職員としての専門知識をつける。 ・「公活パーティー」については、広報の工夫、参加グループへの協力依頼、パネル展示の期間の検討をする。 			
(3)改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費は維持する。